

円滑な年度更新のために

iPadの年度更新について

iPadやiCloudの再設定は、以下の手順に沿って行います。

* 児童生徒の卒業時・入学時等を前提に記載していますが、教職員の異動時にも同様の処理が必要となります。

主な作業実施者を **学校、児童・生徒** **教育委員会** にて表しています。

デバイスのデータ削除・再設定

(新しい利用者へ引き継ぐ場合)

保存されているデータを削除する (年度更新時のみ)

卒業生などから回収したiPadには一般的に以下のようなデータが残っています。

- 各アプリケーションのデータ
- 「ファイル」アプリケーション内のデータ
- iCloud上のデータのキャッシュ (管理対象Apple IDを使用の場合)
- システムデータ

新しい利用者へ引き継ぐため、iPadに保存されているデータを完全に削除します。そのためには2つの方法があります。

- デバイス操作：ローカルワイプ **学校、児童・生徒**
iPad上で行う方法。「設定」>「一般」>「転送またはiPadをリセット」>「すべてのコンテンツと設定を消去」と選択します。
- MDM経由での操作：リモートワイプ **教育委員会**
- MDMから遠隔で行う方法。一度に複数台の消去が可能。iPadがApple School ManagerとMDMで管理され、ネットワークが整備されている必要があります。

iPadの再設定を行う (導入時と同様)

学校、児童・生徒

一般的な再設定の手順は以下の通りです。

- ① データの削除と再キッティング
ローカルワイプまたはリモートワイプでデータを消去するとiPadは初期状態に戻ります。その後ネットワークに接続すると、あらかじめMDMで設定しておいた構成 (アプリケーションや制限の設定など) が自動的にiPadに反映されます。
- ② 仕上げ (iPadのメンテナンス)
新入生などに渡す前に、クリーニングなどiPadのお手入れをします。学校間でiPadの移動が発生する場合は、管理台帳の更新も行います。

年度更新に関する関連情報

- iPadの再設定 (PDF) apple.co/reprovisioning_JA
- IDの管理 (PDF) apple.co/idmanagement_JA

学習成果物などのデータ引き渡し

(クラウドデータの卒業生への引き渡し)

教育委員会

iCloudデータの引き渡し

「管理対象Apple ID」を利用している場合、学習成果物などのデータがiCloud上 (200GB) に保管されます。卒業生は、自宅のPCまたはスマートフォンなどから「iCloud.com」経由でダウンロードが可能です。

他社クラウドサービスデータの引き渡し

iPad上でiCloud以外のクラウドサービスをご利用の場合には、サービスごとに学習成果物などの引き渡し方法が用意されています。詳細は、ご利用のクラウドサービスの手順を確認してください。

ユーザアカウントの削除と新規作成

(新たに利用開始または新しい利用者へ引き継ぐ場合)

教育委員会

既存アカウントを削除する (管理対象Apple ID)

卒業・転出した利用者のアカウント (管理対象Apple ID) は、Apple School Manager上で削除しない限り保持されます。卒業生等のデータ処理が完了した後、任意のタイミングで削除します。

新規アカウントを作成する (管理対象Apple ID)

入学・転入する新しい利用者のアカウント (管理対象Apple ID) をApple School Manager上で新規作成します。卒業生のIDは再利用せず、新規にユニークなIDを割り当ててください。

他社サービスのユーザアカウントの場合

iPad上で他社サービスのユーザアカウントをご利用の場合には、サービスごとにアカウントの処理方法が用意されています。詳細はご利用のサービスの手順を確認してください。

お問い合わせ先

- GIGAスクール関連問い合わせ giga@apple.com
- AppleCare教育機関向け無料専用ダイヤル
0120-679-350 (月～金：9:00～18:00)